

報道関係者各位

2018年9月19日

株式会社 MAIA

【RPA 女子プロジェクト実態調査/第1期 RPA 女子報告】

RPA 講習者の約 50%がシステム開発未経験だった！

～RPA を学ぶ理由は、副業、現場の業務改善、子育てとの両立など多様～

2018年9月21日(金)より「第3期 RPA 女子」受講申し込み開始

RPA 人材の教育及び現場支援のリーディングカンパニーである株式会社 MAIA（本社：東京都港区、代表取締役社長：月田 有香、以下 MAIA）は、社会の RPA 活用ニーズと RPA スキルを身に付けた女性をマッチングする「RPA 女子プロジェクト」(※1)の一環として実施する RPA オンライン教育において、「第1期 RPA 女子」の50名がプログラムを受講し、最終認定試験において21名が合格し(※2018年9月19日時点)、9月末までに30名の卒業を予定しております。つきましては、「第1期 RPA 女子」の全受講生を対象に実態調査も実施しましたのでご報告いたします。

※アンケート調査には受講生50名中48名が回答。

RPA は「Robotic Process Automation」の略で、「ソフトウェアロボットによる業務自動化」を指します。利用者が処理手順を登録するだけで、ソフトウェアロボットが入力、登録、検索、抽出、集計、加工、データチェックなどの単純な事務作業や膨大な書類業務などを人間に代わって自動的に処理します。業務の効率化、迅速化、コスト削減を実現につながるため、労働人口の減少など日本の社会課題の解決に貢献するソリューションとして注目を集めています。

MAIA は「女性の多様な働き方の環境整備」と「RPA 活用ニーズへの対応」を実現するために、実践的な RPA 教育と女性を活用した現場支援を実施しており、2018年5月より、子育て・家族の転勤・介護等女性の復職を支援する「RPA 女子プロジェクト」を実施しております。すでに第1期、第2期の講習は実施しており、「第3期 RPA 女子」受講の申し込みを2018年9月21日(金)より開始いたします。

◆ 「第1期 RPA 女子」実態調査結果サマリー ◆

◆第1期受講生の 40%が全講習を卒業。

※2018年9月末までに合格率60%予定

◆過去に現場事務を経験している RPA 女子が全体の 70%。

◆Web 開発の経験者と未経験者の割合は 50%。

未経験で受講している RPA 女子が多い。

◆Excel、Word、PowerPoint、の未経験者はゼロ。

基本的な PC スキルを持っている。◆副業やスキルアップ、現場の業務改善、仕事と子育てとの

両立などのために受講をしている方が多い。

◆前職で IT や業務改善などを経験している方が多い。



RPA 女子ロボ

イメージキャラクター

<第1期 RPA 女子 受講プログラム概要>

◆第1期 RPA 女子受講生 50名

受講開始日 : 2018 年 7 月
 受講終了日 : 2018 年 8 月 16 日
 受講平均時間 : 約 82 時間
 合格率 : 40% ※2018 年 9 月 19 日時点

※下記アンケートには 48 名が回答しております。

<第1期 RPA 女子 受講者情報（受講エリア）>

受講エリアは関東圏が全体の 84%ですが、海外を含め各地に受講者がおりました。今後は RPA の認知拡大とともに、さらに全国各地に受講者が増加することが想定されます。（※1名未回答）

第1期RPA女子受講者エリア	人数
東京都	19
神奈川県	9
埼玉県	7
千葉県	2
茨城県	2
北海道・大阪府・静岡県 青森県・高知県・愛知県 海外（メキシコシティ）	各1
総計	47

<第1期 RPA 女子受講者 >

今回、認定試験に合格された方をご紹介します。



【現職業】専業主婦（30代） 【前職業】会社員からフリーランス

【RPAを知ったきっかけ】

TKT48 総合職転妻部というコミュニティに参加しており、そのコミュニティを立ち上げられた方に紹介していただいた。

【将来像】

- ・顧客満足度の向上に寄与する取り組みに携わりたい。
- ・人事部門で働き方改革・社員満足度向上といった取り組みに携わりたい。
- ・いずれは在宅勤務でもマネジメント業務ができるようになりたい。



【現職業】IT 管理者、ヘルプデスク（40代） 【前職業】サーバ運用・保守

【RPAを知ったきっかけ】

IT 業界に就業中であり、常日頃から情報を集めていた。

【将来像】

- ・現在、社内ヘルプデスクとして、社内の煩雑な業務に関して相談を受けているため、今回の RPA スキルを活用し、RPA 導入や運用のフォローができる仕事に従事したい。



【現職業】 貿易関連アドバイザー

【前職業】 EPA 関連事務

【RPA を知ったきっかけ】

IT 系メディアの記事。

【将来像】

- ・ 場所や時間に拘束されないリモートワーク
- ・ RPA による企業の様々な業務の自動化を提案・実施するコンサルタント
- ・ 女性の社会進出を支援する活動

※女性のライフスタイルの変遷に応じた社会進出の支援

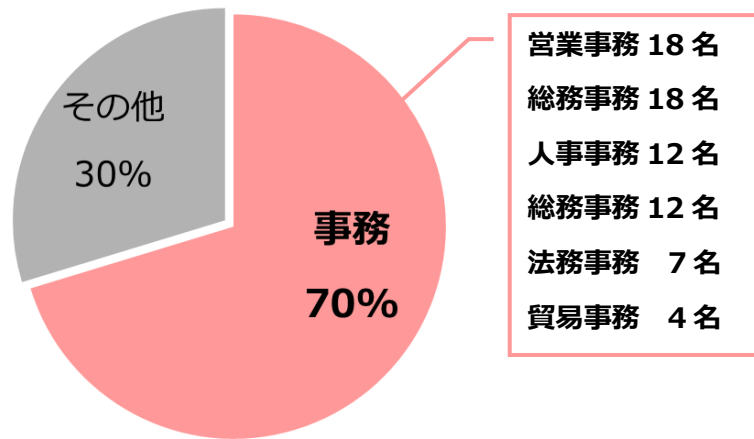
<RPA 女子プロジェクト受講理由>

「RPA を学んだ受講理由」について調査をしましたところ、今後の働き方として副業やスキルアップのために受講をしている RPA 女子が多いとわかりました。

- ・ 業務改善の仕事をしていたので、RPA による業務改善に興味があった。
- ・ 子育てと仕事の両立、また夫の転勤に帯同することを考えると、在宅で働ける可能性を増やすスキルを身につけたかった。
- ・ 前職での人事・総務の業務経験も活かして仕事の幅を広げたいと考えており、かねてから RPA に関心があったため。
- ・ 自宅にいながらにできる収入減が欲しいと思っており、RPA ならそれほどハードル高くなく学べるのではないかと思った。
- ・ リタイア後も継続できる副業を得たい。

<RPA 女子プロジェクト受講前の経験業務内容>

「RPA 女子プロジェクト受講前の過去の経験業務」について調査をしたところ、第 1 期 RPA 女子の 70%が過去、総務や経理などの事務を経験していました。RPA ツールが多く活用される現場において、業務課題を十分に理解している RPA 女子が入る事により、より RPA の活用が円滑になり、業務に寄り添ったコンサルティングや、保守等に携わることが可能であると考えられます。



【RPA 女子プロジェクト受講前の過去の経験業務について】（複数回答）

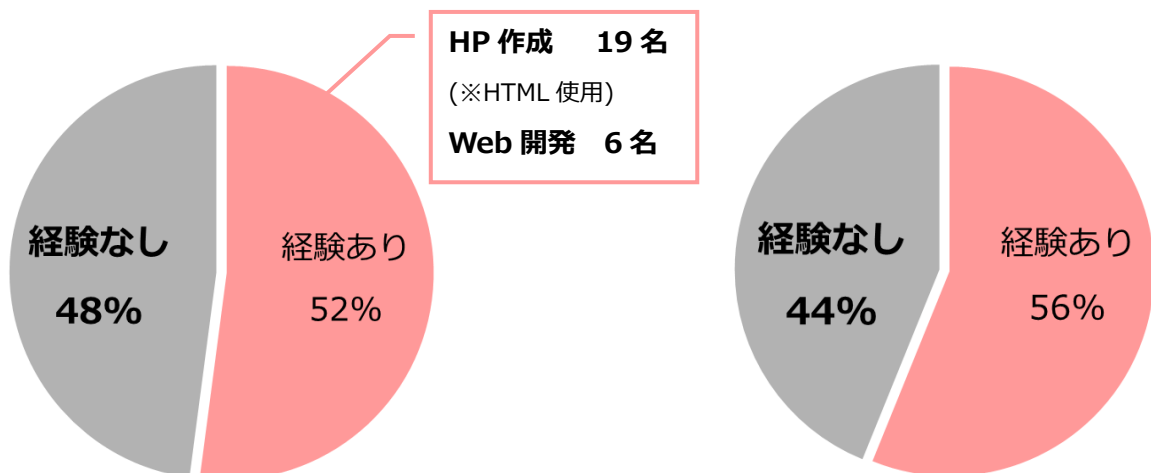
<RPA 女子プロジェクト受講前の PC スキル>

◆Web 開発レベル

Web 開発の経験者と未経験者の割合は約半数。未経験で受講している RPA 女子も多い。経験者が半数以上を占めていますが、未経験で RPA を学ぶ RPA 女子が多くいます。

◆データベース、ネットワーク等利用レベル

経験者と未経験者の割合はほぼ半数。未経験で受講している RPA 女子も多い。経験者が半数以上を占めていますが、未経験で RPA を学ぶ RPA 女子が多くいます。



【Web 開発レベル】

【データベース、ネットワーク等利用レベル】

◆PC キーボード入力レベル

受講者の殆どがビジネスレベルの PC スキルを身に付けている。

PCキーボード入力レベル	人数
ブラインドタッチができる	36
業務に支障をきたさない程度の入力速度がある	12
入力には自信がない	0

【キーボード入力速度】（単一回答）

◆Excel 利用レベル

受講者の殆どが基本的な Excel スキルを身に付けている。

Excel利用レベル	人数
ある程度定型的なグラフ作成はできる	32
ワークシート内で、+ - × ÷ を用いた通常の計算式を作成できる	31
データの意図に合わせて、自由にグラフを作成することができる	22
合計の値をだす程度	20
簡単なグラフ作成を数回行った程度	16
関数を使って複雑な計算式でも自由に作成することができる	14
経験なし	0

【Excel 利用経験】（複数回答）

◆Word 利用レベル

受講者の殆どが基本的な Word スキルを身に付けている。

Word利用レベル	人数
マニュアル等の作成業務で利用したことがある	41
簡単な文章を作成したことがある	6
経験なし	0

【Word 利用経験】（単一回答）

◆PowerPoint 利用レベル

受講者の殆どが基本的な PowerPoint スキルを身に付けている。

PowerPoint利用レベル	人数
提案書等の作成業務で利用したことがある	33
簡単なテキストや図を使って作成したことがある	15
経験なし	0

【PowerPoint 利用経験】（単一回答）

【調査概要】

調査名 : RPA 女子プロジェクト実態調査
 調査対象 : 第 1 期 RPA 女子 受講者
 回答者数 : 48 名

■RPA 女子サービス概要

「RPA 女子プロジェクト」2018 年 5 月 7 日より開始：<https://www.maia.co.jp/rpa-women>

含まれるもの	ライト	スタンダード	プレミアム	セルフ
こんなお客様に	・RPA人材を社内で育成 ・自社で要件定義 ・ロボを協働開発	・RPA人材を社内で育成 ・共同で要件定義 ・ロボを協働開発	・RPA人材を社内で育成 ・要件定義からロボ開発を委託	・RPA人材を社内で育成 ・自社で要件定義と開発 ・上記をサポート
✓ BizRobot Basic 開発ライセンス (RPA女子用)	✓	✓	✓	
✓ 「RPAラーニング for Business」オンライン教育コンテンツ	✓	✓	✓	✓
✓ V-CUBE 5ユーザライセンス	✓	✓	✓	✓
RPA女子支援時間	30時間	40時間	50時間以上	QA・サポート対応
価格	30万円/月	40万円/月	カスタマイズ	20万円/月

■第3期 RPA 女子募集内容

- ・オンライン教育サービス募集開始 : 2018 年 9 月 21 日～2018 年 10 月 10 日
- ・受講期間 : 2018 年 10 月 15 日～2018 年 12 月 15 日
- ・価格 : 定価 100,000 円/人 → 50,000 円/人
- ・教育概要
 - ① オンラインによる RPA 教育 (20 時間)
 - ② OJT (60 時間)
 - ③ RPA 女子検定 初級

<RPA 女子オンライン教育サービス申し込み方法>

- ・申込方法：下記フォームより会員登録した上、お申込み可。
<https://goo.gl/forms/1fdh9rDg6Kp4VfyK2>

(※1)「RPA 女子プロジェクト」とは、RPA (Robotics Process Automation) のベーステクノロジーを提供する RPA テクノロジーズ株式会社と、MAIA、株式会社 Waris、株式会社ブイキューブが、2018 年 5 月 7 日(月)より開始した、RPA を活用したい企業や団体に対して、RPA スキルを身につけた女性をマッチングすることで、子育て・家族の転勤・介護等女性の復職を支援するためのプロジェクトです。

MAIA は、今後も RPA の効果的な普及・拡大に直結するサービスの開発・提供を行い、RPA 普及促進、そして定着を目的に、RPA に取り組む皆さまの業務ニーズに合わせて RPA ロボットを柔軟に選択・利用できるプラットフォームの構築・提供に尽力してまいります。

■株式会社 MAIA (<https://www.maia.co.jp/>)

MAIA は、「人生 100 年時代に、“自分らしく生きる”未来を、共に創造する」をビジョンに掲げ、RPA 人材教育や女性の働き方改革に尽力しています。RPA の専門スキルを持つ女性たちが、RPA 導入から開発、運用、最終的には企業内での自走化までをトータルでサポートいたします。

- ・本社所在地：東京都港区六本木 1-4-5 アークヒルズサウスタワー16F
- ・設立：2017 年 11 月
- ・代表者：代表取締役社長 月田 有香
- ・資本金：1,000 万円